

2020年5月12日

各位

東京都新宿区西新宿八丁目17番1号
株式会社アドウェイズ
代表取締役 岡村 陽久
(コード番号: 2489 東証マザーズ)
問い合わせ先:
上席執行役員 管理担当 田中 庸一
電話番号 03(5331)6308

2020年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異、個別業績の前期実績値との差異並びに2020年3月期剰余金の配当に関するお知らせ

2019年11月1日に公表した2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)の通期連結業績予想値と本日公表の実績値との差異が生じたとともに、2020年3月期の個別業績と前期実績との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、下記の通り2020年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、あわせてお知らせいたします。なお、剰余金の配当につきましては、2020年6月23日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

記

1. 2020年3月期業績予想値と実績値の差異(2019年4月1日~2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	38,000	200	230	30	0円77銭
実績値 (B)	37,304	197	406	164	4円16銭
増減額 (B-A)	△695	△2	176	134	
増減率 (%)	△1.8	△1.4	76.9	449.1	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	41,857	722	903	738	19円06銭

(差異の理由)

当連結会計年度(2020年3月期)は株式会社博報堂DYメディアパートナーズとの資本業務提携により新たな分野のクライアントとの取引が拡大しました。また、全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」が当社グループ以外の代理店の活用を拡大したことにより認知度が高まったことで、大幅に売上高が伸びました。一方で、金融関連クライアントの広告予算の縮小及び、EC関連企業の広告に対し法令遵守を厳格化したことによる広告出稿の減少が影響し、売上高は前回発表予想(2019年11月1日公表)に対し1.8%減の37,304百万円、営業利益におきましては、売上高の減少の影響により1.4%減の197百万円となりました。経常利益におきましては、営業外利益に含まれる持分法

による投資利益が増加したこと等により、76.9%増の406百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、経常利益の増加に加え、投資有価証券評価評価損の計上が想定より減少したほか、投資有価証券売却に伴う特別利益の計上等により、449.1%増の164百万円となりました。

2. 個別業績の前期実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A)	37,028	762	941	586	15円14銭
実績値 (B)	32,847	348	598	346	8円74銭
増減額 (B-A)	△4,181	△414	△343	△240	
増減率 (%)	△11.3	△54.3	△36.4	△40.9	

(差異の理由)

当連結会計年度(2020年3月期)の売上高は国内広告事業におけるスマートフォン向け広告のゲームアプリクライアントのタイトルリリース遅延による広告予算の縮小の影響や、PC向け広告における金融関連クライアントの広告予算の縮小、並びにEC関連企業の広告に対し法令遵守を厳格化したことに伴う広告出稿の減少等により11.3%減の32,847百万円と前年実績値を下回りました。また、販売費及び一般管理費を抑制したものの、売上高の減少を補完できず、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益いずれも前期実績を下回りました。

3. 剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想 (2019年2月5日)	前期実績 (2019年3月期)
基準日	2020年3月31日	同左	2019年3月31日
1株当たり配当金	2円50銭	2円50銭	3円44銭
配当金総額	103百万円	—	133百万円
効力発生日	2020年6月24日	—	2019年6月25日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

当社グループは、中長期的な企業価値の向上に努め、株主に対する利益還元を行うことを経営の重要課題の一つとして認識しております。その基本方針として、財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を中心に据えながら、その業績並びに業績の見通しに応じた適切かつ安定した利益還元を実施してまいります。2019年3月期から2021期3月期までの3ヶ年につきましては、下記の通り当社事業年度(第1期を除く)を基準とした配当性向もしくは1株当たり配当金2円40銭を基準に毎期10銭を増配した1株当たり配当金のどちらか高い方を目途といたしております。

本方針に従いまして第20期(2020年3月期)の配当金は、親会社株主に帰属する当期純利益164百万円に配当性向19%を乗じた配当金総額より、1株当たり2円50銭の配当金総額の方が高いため、1株当たり2円50銭といたします。

<3ヶ年(2019年3月期～2021期3月期)の配当方針>

決算期	第19期 (2019年3月期)	第20期 (2020年3月期)	第21期 (2021年3月期)
配当方針	配当性向18% もしくは 1株当たり2円40銭 の高い方	配当性向19% もしくは 1株当たり2円50銭 の高い方	配当性向20% もしくは 1株当たり2円60銭 の高い方

※大きな業績の変動や大規模なM&A等の経営環境等の変化によって、配当方針を変更する可能性があることをご留意ください。

(参考) 年間配当の内訳

1株当たり配当金(円)			
基準日	第2四半期末	期末	合計
当期実績	0円00銭	2円50銭	2円50銭
前期実績 (2019年3月期)	0円00銭	3円44銭	3円44銭

(注) 配当金の内訳

当期：普通配当 2円50銭

前期：普通配当 3円44銭

以上